

伊陸夢プランだより

第29号
令和6年1月25日発行
伊陸地区コミュニティ協議会

「伊陸夢プラン」の実行に向けて

伊陸地区コミュニティ協議会
伊陸夢プラン支援協議会

会長 山本 達也
会長 西川 義彦

新しい年がスタートいたしました。皆様には健やかに新春を迎えられたこととお喜び申し上げます。

2024年の干支は、「甲辰（きのえたつ）」で、「春の日差しがあまねく成長を助く年」と言われ、「春の日差しの中、自身を見つめ直し足元をしっかりと踏みしめていく事で道が開き、それこそが後に大望を叶える鍵となる」と解釈されるようです。皆様にとっても伊陸地区にとっても、今まで準備してきたことが形になり充実した1年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

また、新年早々に飛び込んで来た「能登半島地震」のニュースは、大変な衝撃を受けました。被災された皆様ならびにご家族、関係者の皆さまには心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、伊陸地区コミュニティ協議会では、「自助・共助」の理念の元「自主防災」の取り組みに力を入れているところですが、「能登半島地震」のニュースに、いつ、どこで起きてもおかしくないという危機感を更に強めた次第です。

地震直後の映像を目にして、自分の身に置き換えて考えた方も多いと思います。「対岸の火事」とせず、自分にできる事、地域でできる事を考えて対策を練るいい機会ともいえます。

年度末を迎えるにあたり、自治会で集まる機会も増えるのではないのでしょうか？集いに合わせ、「防災」に関する研修会を行う自治会も増えて来ました。

「南海トラフ巨大地震」は、2035年前後に起こるとも言われています。自身の身に起きた時、「救える命を一つでも多くするためにはどうしたらいいのか」、真剣に考えてみませんか？

研修会の問い合わせなど、お気軽にご相談ください。
住民の皆さん一丸となって、安心、安全な地域を作っていきましょう。

本年もよろしくお祈り申し上げます。



「伊陸フェスティバル 新鮮市場」開催

昨年12月17日（日）、伊陸小学校グラウンドで「伊陸フェスティバル 新鮮市場」が開催されました。直前まで天候の心配がありましたが、初雪が舞う中多くの来場者で賑わいました。

農作物販売などの8団体の出店に加え、フリーマーケットに4団体が参加され、新鮮市場では初めての体験コーナー「プリザードフラワー」もありました。また、昨年度に続き「伊陸くじ」「石見神楽」もあり、会場では“山口県住みます芸人 ぶるぼん”さんが終始盛り上げてくださいました。最後は、恒例となりつつある、皆様のご厚意による「餅まき」で幕を閉じました。

大変気温が低い中ではありましたが、関係者の皆さま方には多大なご協力をいただき感謝申し上げます。ありがとうございました。今後とも、よろしくお願いいたします。



伊陸地区コミュニティ協議会とLINE でつながろう！

公式 LINE は便利です。

- ・ ホームページの更新・いかちだよりの更新のお知らせ
- ・ 行事日程や変更などのお知らせ
- ・ 害獣情報や災害情報などのお知らせ
- ・ その他（不燃ごみ収集日のお知らせ、
行方不明者の搜索依頼など。）

※右のQRコードを読み取って登録してください。

